

JR東労組新潟

東日本旅客鉄道労働組合新潟地方本部OB会

〒950-0086 新潟市中央区花園 1-1-1

OB会ニュース

発行責任者 山崎 次 男

＝第2回地本OB会幹事会＝

活発な議論で

半年間の総括と当面の課題の

意思統一を図る！

12月2日13時から地本会議室に於いて、第2回地本OB会幹事会を開催しました。

幹事会は、議長に山崎会長が当たり、来賓として参加していただいた地本中田委員長の挨拶（格差べア反対に向けスト権確立の意思確認の一票投票について取り組んでいることや、エルダー問題の取組みなど）を受けました。

その後、高橋事務長の「第20回地本定期総会以降の総括と、当面する地本OB会の課題・方針」についての提起を受け、活発な議論が展開され当面の取組みの意思統一を図りました。

取組みの総括

特に、たしる選挙について、前回よりも103票しか増えなかった獲得票（新潟は492票増）、また、終盤戦の指導により行動が停滞してしまっただけなどの発言があり、「敗北したことをハッキリさせ選挙体制や組織の現状を厳しく総括すべきだ」、更には「OB会の取組み」「現役との共



同行動」などについて成果と限界が率直に出され、また野党統一・市民グループ一体で闘われた参議院選・選挙区県知事選については、「憲法改悪反対」「原発再稼働反対」の観点から「森ゆう子」「米山隆一」候補を応援し、見事当選を勝ち取ることが出来ました。安倍自民党一強の状況の中でも、野党が統一・市民連合が共同して戦えば勝てることを実証した意味で全国的な意義があり、特に原発の再稼働問題には極めて大きなインパクトを与えました。

この成果を大切にしながら柏崎刈羽原発の再稼働反対、安保法など戦争政策に反対し、「壊憲」を目指す安倍政権を許さない取組みを展開していくことを確認しました。

当面の課題と取組み

当面の課題と取組みは、①OB会役員の世代交代、②現役との交流深化、③支部OB会活動の更なる活発化、④エルダー組合員のOB会加入促進の取組み、⑤レク活動の創造的な企画と活発化、⑥来年度の定期総会はOB会結成20周年記念行事を合わせて行う、⑦「我らの声」原稿募集について、⑧地本事務所が3月以降、JR電気ビル2F（現新潟鉄道サービス本社の下）に移動するなどが提起され、現役のエルダー担当者会議などにOB会も参加していくことや、創意工夫した取組みについて議論し、当面する課題の意思統一を図りました。

新津支部定期総会

昨年11月12日「一楽」において、支部OB会総会が開催されました（地本OB会からは渡辺副会長が参加）。

伊藤会長の挨拶に続き、経過報告・方針提起・会計報告と、和気あいあいのうちに終了し、新役員を全員の手拍子で選出しました。

その後懇親会に移り、近況報告や昔話に華が咲きました。最後に、参加者全員で、OB会員の拡大を目指すことを確認し終了しました。

新役員（敬称略）

会長 伊藤春男 副会長 佐々木一雄
事務長 小林富男

第1回下越地区囲碁大会開催！

12月9日、秋葉区ベルシティ内「棋苑大元」に於いて第1回下越地区囲碁大会を開催しました。これは、「年1回の地本の大会だけじゃ寂しいなあ」という会員の声を受けて、新潟、新津、製造所の三支部OB会の共催により実現したものです。

大会は16名が参加。日ごろ鍛えた腕を競い合い、終了後の懇親会にも12名が参加。熱戦の余韻も冷めやらぬ和気あいあいの中で成功裡に終了しました。サークルを通じた組織作りに向けて、来年以降も定例行事として取組みたいと思います。（投稿 T/K）

成績

Aクラス

Bクラス

（敬称略）

- 1位 清水 孝（新潟） 小黒 博（幹事セ）
- 2位 稲田圭樹（新潟） 樋口了三（製造所）
- 3位 小林富男（新潟） 金子達夫（幹事セ）

柏崎刈羽原発運転差し止め裁判報告 弁論終結へ向け論点整理へ！！

10月24日、柏崎刈羽原発の第17回口頭弁論が新潟地裁で開催されました。この日は、先の県知事選挙で再稼働に反対する米山隆一氏が新知事就任の前日という歴史的な日となりました。また本件裁判は、提訴から4年7か月を経て弁論終結へ向けた争点整理に向け議論が行われました。

意見陳述の要旨

原告の意見陳述を行った近藤容人氏(柏崎在住)は、①核エネルギーが暴走すれば、人間の技術でも対応できない。②福島第一原発事故は10万人以上の住民が故郷を追われ避難生活を余儀なくされている。③県知事選の52万8455票は『新潟県民の再稼働に対する強い大きな不安を裏付けたもの』と運転差し止めを求めました。

弁護団の主張内容

一、被告準備書面No.12の独自の地質調査の活動層は不在にに対する反論

① 範囲を狭く限定した地質断面図の検討は不十分。② 渡辺満久教授は中央丘陵を形成した断層と与板・三谷尾斜を形成した鳥越断層を活断層と判断。③ 広い範囲の地質断面図の検討を行い、与板背斜は西山、灰爪、魚沼層が褶曲、地下の断層が連

続している活断層と反論しました。

二、中越沖地震で明らかになった柏崎刈羽原発の欠陥について

① 班目春樹氏の証言で原子炉新設の評価は、過酷事故は起きないことになっていた。② 「中越沖地震の海底断層も事前に認定できていなかった」「湯の岳断層を活断層と認めなかった」これまでのやり方が通用すると思つのは問題。③ 日本建築学会の管理指針では「地震など突発的要因により発生したひび割れは構造安全性に影響を与えないと考へすべし」と定められている。④ 中越沖地震の被災痕跡の健全性が解明できない設備劣化、安全裕度の切り捨ては大きな問題。⑤ 設計基準事故・事象訓練等実証されていない。⑥ 外部電源設備(鉄塔等)の耐震性はCクラス。過酷事故対策が欠如していると主張した。

三、避難計画の問題点について

① 福島原発のメルトダウン虚偽説明は正確な情報伝達の保証はない。② 道路の大規模崩壊、中越地震では国道・高速道の通行止めが多発。③ 万一過酷事故が起きた場合の県のシミュレーションからの避難時間は5km圏離脱の最短3時間半、30km圏離脱時の最短で8時間、住民が100%脱出するに最短で11時間という結果、被ばくなしに避難は無理。④ 線量が500μSv/hでは2時間で年間被ばく限度量を超え安全な屋内退避は不可能と厳しい現実を主張した。

裁判前集会で裁判経過及び本裁判の原告の論点を説明する和田弁護団長



次回第18回公判

2月6日 15時から

(投稿者 K/S)

歓迎！

昨年6月の定期総会以降にOB会に加入された皆さん(氏名下の「E」はエルダー組会員)です、会員みなで歓迎します。健康で、元気に、楽しくOB会活動を頑張りましょう！

加入月	氏名	所属
7月	高橋 正直さん	新潟
"	阿部 広務さん	新潟
"	中沢 正さん	湯沢
"	増井 利恵さん	支社
"	丸山 哲治さん	直江津
"	村井 和摩さん	新潟
"	井上 三天さん	新潟
"	上田 良夫さん	新潟
"	田中 裕貴さん	新潟
"	稲垣 勉さん	直江津
8月	塩原 勝栄さん	新潟
9月	五十嵐信天さん	長岡
"	木村 誠さん	地本
"	新井 則雄さん	直江津
"	石川 弘明さん	新潟
10月	岡田 道雄さん	地本
"	清野 一雄さん	地本
"	熊木 重人さん	新潟
"	五十嵐友一さん	村上
"	高頭 要作さん	製造所
11月	土岐 光義さん	酒田
"	栗田 光明さん	新津